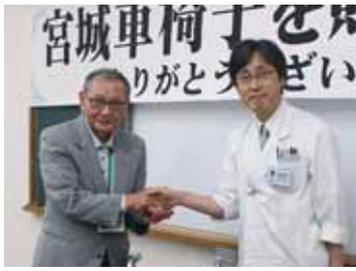


きっかけは、ポイ捨てされた空き缶 「宮城車椅子を贈る会」

7月4日(木)に、宮城車椅子を贈る会から塩竈市立病院へ、車椅子1台が贈られました。宮城車椅子を贈る会は、ジューズやビールの缶に付いている開け口プルトップを集め、車椅子を購入し、必要とする施設に寄贈している団体です。

この取り組みは、会の代表である田中昭彦さんが、ポイ捨てされた空き缶を通勤や散歩のときに拾い始めたことがきっかけで始まりました。田中さんは、拾った空き缶のプルトップを集めると車椅子が購入できると知り、2011年に一人で活動を開始しました。その後、家族、親せき、友達…と活動が広がり、現在では、町内会やシルバー人材センターなどの団体33カ所と個人会員の皆さんが協力しています。



▲田中昭彦さん(左)



▲塩竈市立病院の職員と宮城車椅子を贈る会の皆さん

宮城車椅子を贈る会事務局
(塩竈市シルバー人材センター)
☎367-5940

田中さんは「一人で始めた活動から、多くの人と知り合うことができてうれしいです。協力してくれている皆さんも、この活動をきっかけに友達になっていくことを聞きました。なかなか集まらず、くじけそうなきもありませんが、皆さんに支えられて2015年から毎年寄贈を続けることができました。これからも楽しく活動を頑張りたいたい」と話してくれました。

車椅子1台には、プルトップ約二百四十万個が必要になるそうです。皆さんも活動に参加してみませんか。

しおがまの昔・懐かし 思い出写真館 ④

北浜地区からのぞむ塩釜港の風景を収めた写真を紹介します。上段が昭和30年代の様子、下段が現在の様子です。

敗戦後の昭和22年、震災復興土地区画整理事業の決定とともに都市計画道路も全面的に改定され、復興が開始されました。昭和31年には東北本線塩釜駅が整備されるなど昭和30年代は市内で震災復興の事業が行われました。昭和35年の千り地震津波による被害の大きかった北浜地区では、約30年に渡り区画整理事業が行われました。

この一枚は、街や港湾部の様子が大きく変わり始めたときを捉えたものといえます。



▲昭和30年代



▲現在

主に昭和40年代から平成10年頃までの塩釜の写真を集めます。詳しくは市ホームページをご覧ください。か、政策課市政情報係(☎355-5728)まで問い合わせください。

宗旨宗派不問
つどいの地

樹木葬墓地

料金形態
永代使用料及び管理料
1名 **50万円(税別)**

※生前のお申込み2名様の場合は70万円(税別)以降1名様ごとに15万円(税別)となっております。
※永代使用料には、プレート料・彫刻料・納骨料が含まれております。

—— ご契約後の管理料は一切必要がないので安心です。 ——

仙塩丘の上霊園

宮城県塩竈市
向ヶ丘25番9号

塩釜市月見ヶ丘
霊園向い側

生前予約承ります

お問い合わせ 022-762-8656

樹木葬生前予約分譲開始
※指定石材店は志賀石材店です

お問合せ 無料

022-762-8656

仙塩丘の上霊園 検索

※写真はイメージです。

「広報しおがま」は、22,800部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は72円です。

塩竈市は、自主財源を確保するため「広報しおがま」に有料広告を掲載しています。

